



国立公文書館	
分類	返 赤
	3 A
配架番号	14
	79-5

NA #14160

極秘

1 OCT 17  
Copy ..... 1957

自昭和十六年二月二十八日  
至昭和十六年二月二十八日

月

報 (二月分)

北支那方面軍司令部參謀部第四課

国立公文書館	
分類	
配架番号	79-5



圖 布 區 分

蒙本部、陸軍省、總軍

部 內 (參謀部第一、二、三、四、第一諜詢查班、報道部、副官部、經理部)

駐蒙軍

第一軍

第十二軍

直轄師團

獨立混成第十五旅團

支 隊 司

天津特務機關

河北省、北京、石門、新鄉、河南省、山西省、太原、運城、臨汾、蘇北、濟陽、濟南、濰縣、濰安、海州、陽泉、芝罘、歸德、邯鄲特務機關

豫 備

計

附記 第一軍、第十二軍ハ特務機關々係兵團ニ一部宛送付サレ度

各五

各一

一

九

八

各一

一

一

二

各一

一

九

七

目 次

第一章 政務關係事項

一、北京特務機關ヲ直轄トシタル件	一
二、省、特別市長會議ニ關スル件	一
三、滕、魚台、沛縣行政區劃改編ノ件	二
四、縣公署成立ニ關スル件	三
五、日本語ノ普及徹底ニ關スル件	四
六、二月末ニ於ケル縣政恢復及道縣連絡員、同輔佐員數一覽表	七
第二章 渉外關係事項	
一、在天津米商「ニコルス、チャイニイズ、ラツク」商會所有羊毛押收ニ關スル件	八
二、米國人所有舊法幣沒收ニ關スル件	九
三、江蘇省新浦鎮「スタンダード」石油販賣制限ニ關スル件	一〇
四、山西省隰石居住諾威人宣發師「ベターホール」檢査取調ノ件	一一

五 立哨中歩哨事故ニ関スル件	一一一
六 日本人「ウエンハム・ホル」地下室侵入調査件	一一一
七 英人引揚状況調査依頼ノ件	一一一
第八章 交通関係事項	
一 三月份物資輸送計畫ニ就テ	一一一
二 一月份物資輸送計畫ニ就テ	一一一
第九章 産業経済関係事項	
一 物資對策關係	一一一
二 貿易關係	一一一
三 事業審査關係	一一一
二二	
二三	
二四	
二五	
二六	
二七	
二八	
二九	
三〇	
三一	
三二	
三三	
三四	
三五	

第一章 政務關係事項

一 北京特務機關ヲ直轄トシタル件

方軍作命戊第四八號ヲ以テ二月二十日ヨリ北京特務機關ノ獨立混成第十五旅團配屬ヲ解キ方面軍ノ直轄ト爲シ北京特別市ノ市政指導ニ任セシムルト共ニ警備治安（渉外關係事項ヲ含ム）及道縣政ノ指導ニ關シテハ全旅團長ノ區處ヲ受ケシムルコトトセリ

三省、特別市長會議ニ關スル件

華北政務委員會ニ於テハ管下省長、特別市長會議ヲ二月七日ヨリ十日迄四日間開催シ委員長及各總署督辦以下關係官出席シ委員長ノ訓示ニ始リ各總署督辦ノ政務指示出席省市長ノ狀況報告及提議案ノ審査並ニ總談等ヲ以テ終了シ會議ノ經過順則ニ述ビ茲ニ所期ノ目的ヲ達シタルモノト思科ス

尙本會議ヲ總會ニ平田澤謀副委員長列席シ世界情勢殊ニ太平洋問題ニ關シ約一時間半講演ヲ行ヒタリ

出席省市等左ノ如シ

河北省	吳	贊	周
山東省	唐	仰	社
山西省	蔣	登	仁
河南省	陳	靜	齋
天津特別市長	馮	世	珍
青島特別市長	趙	瑛	
北京特別市長	代	理	秘書長
蘇北行政專員	劉	以	琳 (列席)
	吳	承	湜 (市長病氣缺席)

三、滕、魚臺、沛縣行政區劃改編ノ件

山東省滕縣、魚臺縣及蘇北邳州沛縣ノ行政區劃改編ニ關シ當分ノ  
 微山湖ヲ以テ境界トシテ別圖(省略)ノ如ク彼此兩岸飛地ヲ近接  
 ノ行政下ニ結合スルコトニ定メタル旨仁集團ヨリ報告アリタルニ付  
 左記(一)ノ如ク仁集團(二)ノ如ク吳亞陸蘇北總領事ニ通知セリ

左記

(一) 貴電ニ於テ大綱ヲ決定シ細部ニ關シテハ關係兵區(海關)ニ於テ  
 協議決定ノ上支那領機關ヲ指導スル如ク依命通達セラレアリ現地  
 ノ情勢上已ムヲ得サル處置ト思惟スルモ地方行政區劃ハ複雜ナル  
 地方事情ヲ基調トシ定メラレタルモノナルヲ以テ將來此種事項ノ  
 處理ニ當リテハ先ツ地方事情ニ精通セル支那側行政機關ヲ表面ニ  
 立テシメ實ハ之カ内面指導ニ當ル如ク注意相成  
 (二月五日方電第四密第一一二號仁集團宛)  
 (二) 縣行政ノ執行ヲ容易ニシ地方治安ノ向上ニ資セシムル爲當分ノ  
 縣行政區劃ヲ別圖(省略)ノ通改編スル如ク省公署以下ヲ指導シ  
 タル旨飯田部長陸總領事ヨリ報告アリタルニ付通達ス  
 (二月五日方電第四密第一一二號蘇北總領事宛)

四、縣公署成立ニ關スル件

河北省冀南道東明、濮陽縣ノ治安維持會ハ愈々解散シ一月二十二日

縣公署ノ設立ヲ見二月四日成立祝典舉行セラレタルニ依リ課長ヨリ  
左記ノ通祝電ヲ發セリ

(二月四日方報即電第一四二號)

左記

貴縣公署成立式典ヲ舉行セララルルニ當リ衷心ヨリ慶祝ノ意ヲ表シ併  
セテ將來皇軍トノ提携協力ヲ益々緊密ニシ縣政ノ飛躍的發展ヲ招來  
セラレンコトヲ祈ル

又日本語ノ普及徹底ニ望ムル也

北支ノ治安快復及中小學校ノ復興ト相俟ツテ日本語ノ普及熱意ヲ願  
調ナルモ未タ所望ノ域ニ達シ居ラサル現況ニ鑑ミ與亞亞亞北支各縣  
ヲシテ教育總署ヲ指導セシメ之ヲ徹底ニ圖シ各省市教育廳局長左  
記ノ通訓令セシメタリ

左記

查スルニ東亞新秩序建設ハ本來經濟文化等ノ各方面ニ於テ東亞各民

族ノ協和提携共存共榮ヲ謀ルヲ以テ目的ト爲シテ語文ノ交流ハ  
固チ最重要ノ手段タリ此ノ故ニ事變後特ニ日本語ヲ主要課程ニ指定セ  
ラレ教員招聘ニ付テモ語文教學ノ經驗ニ富ミ且發音正確ニシテ日本  
ノ事情ニ精通セル者ヲ選擇スヘキ慮今ヤ各省市公私立各級中小學校  
ハ此ノ三年來次第ニ復興シ復舊亦漸次増加シ居ルガ各私立學校ニ於  
ケル日本語班次ハ前臨時政府所定ノ教學時數表ニ準據シテ設置シ居ル  
ヤ否ヤ或急務查報告相成候尙日本語教員ヲシテ需要ニ適應セシムルノ  
任ニ至テハ毎々人材缺乏ノ感アリ今彼優秀教員ヲ選擇シ教員ノ効  
果ヲ増進セシムル爲各省市管内公私立各級學校ニ於テ日本語教員ヲ招  
聘スル場合ハ既往ニ於テ正規ノ檢定ニ合格セル者及既ニ招聘中ノ中  
心優秀員ヲ除ク外今後ハ必ズ其ノ地方ノ如何ヲ問ハズ學校實際相當  
ナル日本語教員ヲ選擇招聘シテ教師ト爲シ以テ日本語教學上ノ裨益大ニ  
ランコトヲ期スヘシ尙此ノ意日本語教員ノ招聘手續ニ付テハ豫メ主  
管教育廳局ト協同達成其ノ履歷書ト共ニ調査ヲ作成當總署ヘ報告備

續セラレ  
右訓令ス

六二月末ニ於ケル縣政恢復及道縣連絡員同朝佐員數一覽表

省地區別	總縣數	同 上	內 譯	道 連絡員	縣 財務一警務	同 上 朝 佐 員	計
河北省	一〇八	一〇八	一	九	一三三	一九	一六七
山東省	一〇五	一〇二	〇	一一	九八	二九	一四六
山西省	九二	六三	一一	三	七二	一四	九二
河南省	四二	三六	二	二	三九	一〇	五九
蘇淮北地區	一〇七	一〇六	〇	六〇	二六	三	二九
合計	三九六	三四七	一三	三四	三六七	七五	四九三

備考、本年ニ入り縣政恢復シ縣公署成立シタル縣左ノ如シ

- 一月 七日 山東省 郟城縣
- 一月 十五日 河南省 考城縣
- 一月 二十日 河北省 南樂縣
- 一月 二十二日 同 濮陽縣、東明縣
- 二月 九日 河南省 滑縣
- 二月 二十六日 河北省 滄州府

第二章 渉外關係事項

一、在天津米商「ニコルス、チャイニー」之商會所有羊毛押取ニ關スル件

日時 昭和十五年十月二十三日

場所 天津特一區小王莊檢問所

未 解 矣

先月申入レアリタル本件ニ關シ調査ノ結果十月二十三日天津特一區  
小王莊檢問所ニ於テ特別警察局長選中ナル自動貨車ヲ發見檢査シ  
訊問ノ結果該山羊毛ハ米商「ニコルス、チャイニー」ズ、ラツク」會  
會ノ所有品ナルコト判明ス依テ清水部隊ニ於テ該品ヲ檢査セル所宜  
需不適品ナリシニ付十一月十二日荷主ニ返却スルコトトシ市內  
送許可願及實需不適證明願ノ手續方法ヲ説明シ様式用紙ヲ備ヘ之ニ  
記入スハント申與ハタルニ荷主ハ一應歸宅ノ上製製シ提回スルトテ  
歸宅セルモ十二月二十一日米商領事館通譯岩崎某ヲ適シ無條件ナラ  
ハ受取ルモ許可願ツテ受取ル後ナラハ受領シ得スト回答セリ



右ノ如キ事情ナルヲ以テ軍トシテハ先方カ市内ニ於テ許可應及軍需品  
不適證明願ノ手續方法ヲ採リタル場合ニ於テ本件羊毛ハ返還スヘシ  
尙本件ハ北支區工業材各品出統制規定ニ照準スルモノニシテ今茲此  
種事情生起ノ場合ニ於テモ軍ハ一般貿易業者カ本規定ノ實行ニ協力  
スル限リ規定ノ許シ得ル範圍内ニ於テ便宜從與スル用意アル旨先方  
ヘ申入レタリ

三米對人所有舊法幣沒收ニ關スル件

日時 昭和十五年十二月二十四日

場所 津浦線第一〇二號列車内

未 解 決

本件ニ關シ調査ノ結果先方ノ申入ハ事實ト相違シ居ル旨判明セリ即  
チ本件ハ十二月二十四日津浦線第一〇二號列車乗中ノ憲兵車内檢  
問調査中「上海英租界東京路九〇 洋服商 倉屋三」ナル者法幣百  
九十元ヲ兩脚靴下内ニ隠匿シアルヲ發見シタルヲ以テ説諭ノ上領置

セリ、其際隣席ノ米人「バリーグマン」ニ對シ旅券ノ提示ヲ求メタル  
ニ所持シテラストテ上海陸軍隊發行ノ通行證ノミ提示シタルヲ以テ  
無旅券旅行ノ不可ナルヲ諭シ更ニ法幣ノ所持ニ關シ尋ネタルニ靴下  
内ニ隠匿シアリタル法幣百元ヲ提示セリ、依ツテ「北支ニ於テハ法  
幣ハ流通禁止セラレアリ」ト諭示シ任意提出方促シタルモ「歸  
陸ノ旅費トナス」トカ或ハ「他ニ所持金ナキ爲 困窮ス」トテ強辯ヲ  
弄シ肯セザリシ爲憲兵ハ分隊ニ任意出頭ヲ求メタル處漸ク其ノ非ヲ  
認メ旅券ニ關シ便宜供與ヲ懇願スルト共ニ該法幣ヲ任意提出セルモノ  
リ、依テ先方ノ申入レハ事實ト相違アル旨二月八日對ニテ先方ニ應  
答セリ

三江蘇省新浦鐵「スタンダード」石油販賣制限ニ關スル件

日時 昭和十五年十二月

場所 江蘇省新浦鐵

未 解 決

本件ニ係リ當該米商大使館ヨリ日本大使館ヲ通シ江蘇省新海縣所在  
 「スタンダード」石油會社代理店ハ昨年十二月同日官憲ヨリ「現今  
 石油ノ販賣ニハ許可證ヲ要ス」ト通告セラレ更ニ十二月十八日新海  
 鎮總商會理事長小林某ヨリ「石油ノ搬入月量ヲ制限スヘキコト並ニ  
 其販賣先及ヒ種段ハ官憲ニ依リ指定セラレヘキコト」ヲ通告セラレ  
 タリ又十二月二十一日新海鎮憲兵隊ハ右代理店ニ對シ「最近搬入セ  
 ラレタル石油一、三二三箱ハ無許可證人ナルニ付當然押收セラレハキ  
 モノナルモ今回ニ限り特ニ許容スル旨ヲ告ケ更ニ右該旨ヲ承諾ス  
 ル意味ノ文章ニ署名セシメラレタリ斯ノ如キ「スタンダード」石油  
 會社ノ正當ナル營業ニ對スル干渉ヲ早急停止セシムル様手配取成  
 旨申入レアリタルヲ以テ目下案情調査中ナリ

又山西省陸石居住諸國人宣教師「ベダー、ホール」被擧取調ノ由  
 日時 昭和十五年十二月二十二日  
 場所 山西省離石

解決

本件ニ關シテ昨年末來引續キ調査中ノ所抗日行爲明瞭トナリ當然嚴  
 罰セラルヘキ處ナルモ本人「ベダー、ホール」カ特ニ遺憾ノ意ヲ表シ  
 爾後斯ル事起ラズ絶對ニ惹起セサル事ヲ誓約セルニ付特別ノ證據ヲ以  
 テ之ヲ釋放スル事トシ本件ハ一先ツ解決セリ

三 立哨中歩哨事故ニ對スル由

日時 一月三十日  
 場所 北京市内

未解決

本件ニ關シ當該米商大使館ヨリ日本大使館ヲ通シ美領事長老教會附屬  
 病院ノ一看護婦カ一月三十日午前六時十五分頃出勤途中北城ノ或處  
 前ニ於テ勤務中ノ武裝セル日本宣歩哨ニヨリ通行妨害セラレタル旨  
 申入レアリタルヲ以テ目下案情調査中ナリ

六 日本人「ウエンハム、ホール」地下室侵入調査ノ由

日時 二月三日  
場所 北京市内

未解決

本件ニ関シ堂垣米大使館ヨリ日本大使館ヲ通シ二月三日午後十時  
頃泥酔セル平屋ノ一日本人カ男子並生祭「ウエンハム、ホール」ノ  
西壁ヲ穿テ入り下室ニ入り延ミ動搖中ノ火夫及其他ニ暴行ヲ加ヘタ  
リト申入レアリタルヲ以テ目下事情調査中ナリ  
七英人引揚状況調査依頼ノ件

在 上海英領大使ハ二月十七日附ヲ以テ日本軍占領区内ニ在住スル英  
人ニシテ所用ナキモノハ成ルヘク引揚ル機密報告ヲ發セル旨ノ情  
報ニ接シタルヲ以テ情報確実資料適時報告アリ照會下都府ハ速處  
セリ

第三章 交通關係事項

一、三月分調査費計費ニ就テ

第一、鐵道ニ據ル調査費計費

(一) 費用品 (除石炭)

日 額 卅三九車 (内一五車ハ特殊調査)

(二) 費用品 (除石炭)

日 額 三十七車 (内二五車ハ專用列車ニ據ル砂利運送)

(三) 民需品 (除石炭)

日 額 一九八車

計 日額 二〇一車

但シ

宣化砂鐵礦石塘沽 (昭音局碼頭) 坑	日 額	三〇車
石景山坑	"	五車
曹各庄、朱各庄、海河塘	塘 沽 坑	三〇車
劉石	"	三〇車

頭泉	通州	城宛	一五車
蘆溝橋	通州	村宛	二五車
太原北	永居門	宛	五車
站發	瀋陽	宛	三車
石膏	瀋陽	宛	

4. 日須

イ、管内 五一、一車

ロ、管外區

陸軍 六、〇車

海軍 一六、五車

計 七三、六車

2. 日須 (日須) 一九二、〇車

3. 日須 (日須)

イ、日須工 一、一車、一車 (内五、〇車ハ「コークス」送)

ロ、搬移出用

日本向 五九九、一車

滿洲向 四四、〇車 (内一、〇車ハ「コークス」送)

中文向 一七〇、〇車 (内三、〇車ハ「コークス」送)

ハ、船焚用 三八、〇車

ニ、民需用 七〇九、九車

計 一六七五、四車 (内九、〇車ハ「コークス」送)

合計 一九四一、〇車 (内九、〇車ハ「コークス」送)

第三水運ニ據ル物資搬送計畫

一、大清河 貨 民貨 計

天津、保定間 三〇〇 四〇〇〇 四五〇〇

保定、天津間 六〇〇〇 六〇〇〇

二、南運河 天津、德縣間 二五〇〇 三〇〇〇 五五〇〇

德縣、天津間	五〇〇〇	五〇〇〇
德縣、臨清間	一、五〇〇	一、三〇〇
臨清、德縣間		
臨清、新鄉間		
新鄉、臨清間	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三子牙河		
天津、衡水間	四〇〇〇	四、四〇〇
衡水、天津間	一、六〇〇	一、六〇〇
衡水、邯鄲間		
邯鄲、衡水間		
四總計	八、五〇〇	計 二九、五〇〇

第三實施ニ付スル注意事項  
最近ノ出貨ハ新舊正月休業ノ影響強クニ反シ甚大ナリシ爲鬼角低

ノ噸ツ受備ニアルカ愈春暖ノ三月ニ入レハ一般商取引ノ活潑化、年  
度末決済關係物資ノ殺到ヲ豫慮セラルル外各地物資小運搬力並ニ稼  
働率ノ好進ヲ以テ物資貯蓄ハ全量的ニ殷厚ヲ呈スヘク一日平均使用  
車三七五八車月間發送總數八六、九八六テテ大ナル計畫ヲ樹立セ  
ルニ石炭發送計畫ニ於テハ移出炭礦動計畫完遂セントシ關係各  
部面非常最高ノ機能ヲ發揮スヘキ企圖ノ下ニ査定セリ  
本計畫ニ際シ長モ望意セシハ青島運雲港ヲ首メ各港碼頭役力増強請  
費移出炭港別振向量差別配船要請並ニ鐵道手力ノ接配調節ニア  
ルモ本計畫實踐ノ良否ハ炭礦、鐵道、港灣、配船各部門ノ圓滑ナル  
一貫作業ノ實施如何ニカカルモノニ付運送ノ連絡ニ密ニシ一部面ノ  
隘路ヲ以テ果々他ニ及スカ如キ事ナキヲ期セラレ候  
尙石炭以外ノ一般物資發送ニ付シテモ發送ノ逼迫上ノ狀勢ニアル  
ニ付キ計畫對策一〇〇%ノ實現ニ努メ貨直並ニ運送力(發送計畫)  
ヲ混亂徒費セシムルコトナキヤウ留意セラレ候

二月分の賃金総額実績ニ於テ

正月ノ休業アル當月ノ賃金ニハ多大ノ期待ヲカケ奉サル見込ノ  
下ニ當初ノ野蠻モ係各面ノ要請ヲ其ノママ受ケ人レ待後ノ加減  
査定ヲ爲サス事ヲ荷役力立ニ線働率ノ低下防止ヲ以テ計畫完遂ニ努  
メントコロ其ノ結果ハ計畫對實績歩合ニ於テ煤製品九〇%産用品九  
三%産用品八六%合計八七%（石炭九三%其他八二%）ニシテ良績  
ト認シ得シ之カ主因ハ正月用必需品ノ前送手當良善ニ因ル荷働低減  
並ニ正月休業ノ影響亦ノ亦甚大ナリシニ因ルモ地方委員會ノ要請量  
亦甚大ノ説ヲ爲レス

當月餘給成績中特筆スヘキハ山東、中兵、柳泉、大同、各炭礦ニ於  
ケル正月休業ニ停フ惡影響ヲ克服シ良績ヲ取メタル努力及屢來不續  
ヲ續ケタル産用品ノ實績昇上顯著ナルモノナリ  
又テ前年同期ニ比スル成績ハ石炭一七%増其他一〇%減合計三%ノ  
増ナリ

#### 第四章 産業經濟關係事項

##### 一、勸業對策關係

##### 一、郡縣勸業對策委員會新設ノ件

郡縣勸業對策委員會新設ノ件  
郡縣勸業對策委員會新設ノ件  
管内（冀南道）濮陽、東明、長垣ノ各縣ヲ除ク一寧德、臨漳、武  
安、林、涉ノ各縣）ヲ其管轄地區トシテ認可シタルヲ以テ近ク設立  
セラルル豫定ナリ。

##### 二、華人ノ加入組合加入ニ關スル件

在天津特別市華人加入業者ノ天津日本商人組合加入ニ關シテ  
天津特別市市長ヨリ照會アリ加入資格審査委員失格後ノ照會組合  
加入等ニ付テハ慎重ヲ期スルコトトシ之カ華人業者ノ参加ヲ認メ  
タリ。

##### 三、北支向籍別雜費取分額變更ノ件

從來向籍別雜費ハ天津清水部取分於テ五百圓指示下ニ之カ因給ヲ定

施シ來リタル處天津漢口等處輸入關稅合設置ト共ニ二月分與  
勘量ノ豫水部等ヘ完納。俟テ三月分ヨリ與亞院指示ノ下ニ若組合  
ニ於テ取裁フコトトナレリ。

三 貿易關係

一、滿洲北支間關係  
滿洲北支間關係支那整理東京會議ノ後  
ニ至ル間東京ニ於テ主トシテ企業院ノ建議ニ依リ會議準備セラレ  
大要左ノ如ク決定セラレタリ  
依テ本決定事項ハ昭和十六年四月日滿支貿易計畫ニ附加計上セラ  
ルヘキモノナルモ速ニ實現スル限メニ本年三月ヨリ實行ニ移サ  
ルコトトナレリ。  
尙之ヲ滿部ノ發行方法及價格數量等ノ點ハ具體的取極メテ必要ト  
スル爲現地ノ條件ヲ加ヘ現地會議ニ於テ決定スル豫定ナリ。  
本會議ハ中央備金監院、遼寧省、大連省、商工省、外務省、與亞院

滿洲事務局各關係官、滿洲總督、奉天省、滿洲國政府、東局各關係  
官、北支領ヨリハ多田部隊長官（笠原參謀長、有末、幸道、宮  
本各參謀加藤主計少佐）及與亞院滿洲北支聯絡部、財務官室各關係官  
出席ス

左 記

一、滿支間關係收支調整ニ關スル  
方針

滿洲國北支間關係收支ハ均等ヲ保持スルコトヲ目的トシ已ム  
得スルニ於テ生スルコトアルヘキ不均等ハ日滿支三利ノ公平ナル  
邊ニ於テ之ヲ調整ス

要領  
（一）昭和十六年度滿洲國北支間關係收支ニ付テハ別紙計畫表ニ依  
ルコトトシ之ヲ滿洲國ノ對華北支關係調整ノ可及的策ニ調整スル

方針。以テ翌年十六年度本邦對滿支貿易計畫ノ終局ニ至ル迄  
日滿兩國ハ兼營リ本年三月以迄左ノ總增額ナルコト  
①本邦ハ毎月天賦價格略々五〇〇千圓ニ相當スル増額ヲ増  
進スルコト

④本邦ノ對滿輸出ハ右増進額ノ半ニ減少スルコト

(二)昭和十六年度本邦對滿支貿易計畫ノ終局ニ至ル迄  
ニ就ル對支ノ總輸出額ノ増進狀況ハ下リ對支ノ上之ニ增加  
計上スルコトトシ、本邦對滿支ノ總輸出額ハ右對支國ノ總輸出及  
本邦對支貿易總額ノ約半ニ對等スルモノトス

③貿易計畫決定ニ至ル迄總額ヲ五〇〇千圓ニ付テハ左ノ如ク  
實現スルモノトス

④總額中九千萬圓ハ昭和十六年度ヨリ三箇年間に等分増進ス  
ルモノトシ之ヲ第一等ノ對支國ノ總輸出額及計畫ニ計上  
ス但シ昭和十六年度分ノ總額ニ付テハ本年三月ヨリ之ヲ

行ス

(ロ)右ノ總額ノ償還ニ付テハ別途選クモ昭和十六年度末迄ニ全  
圓資金ニ充テラルモノトス

④本邦對滿支ニ付テハ必要トスル金圓資金ニ付テハ別途決定  
セラルヘキ對滿供給資金計畫ニ計上シ之カ確保ヲ圖ルモノト  
ス

備考

前記三四〇千圓ニ相當スル本邦對支ノ種類及金額並ニ減少  
スヘキ對滿輸出ノ種類及金額ハ別途關係應協議ノ上決定スル  
モノトス



Handwritten text in vertical columns, likely a list or index. The text is faint and difficult to read, but appears to contain names and possibly dates or locations. The columns are organized in a structured manner, possibly representing a table or a series of entries.

Handwritten text in vertical columns, continuing the list or index from the left page. The text is also faint and difficult to read, but follows the same structured layout as the left page.

昭和十六年度滿北支那國際收支計畫表

一六二一  
(單位 千圓)

支拂	取	支拂	取
一、貿易外支拂	一七〇〇	一、貿易外支拂	二八〇〇
苦力募集金		苦力募集金	三六〇〇
苦力資金		苦力資金	三六〇〇
一般		一般	八八〇〇
計		計	
二、貿易上支拂		二、貿易上支拂	
石炭	二五五八〇〇〇	石炭	一四四〇〇
アンペル	一三〇三五〇〇千枚	アンペル	四〇〇〇
石膏	一〇〇〇〇	石膏	四〇〇
コーラス	一〇〇二〇〇〇〇	コーラス	一四〇〇
鮮魚介		鮮魚介	一三〇〇
蔬菜鮮魚		蔬菜鮮魚	四〇〇〇
其ノ他雜品		其ノ他雜品	七〇〇〇
三小計		三小計	三三八三〇
計		計	
支拂總計		支拂總計	三三八三〇
三、貿易上受取		三、貿易上受取	
(1) 専賣出分		(1) 専賣出分	
(2) 粟	八三〇〇〇	(2) 粟	二二〇〇
高梁	一〇〇〇〇〇	高梁	三三〇〇
玉黍蜀	六八〇〇〇	玉黍蜀	一五六四〇
黄大豆	五〇〇〇	黄大豆	一五〇〇
黒大豆	五〇〇〇	黒大豆	一三三〇
綠豆	三〇〇〇	綠豆	六〇〇
枕木	一四〇〇千丸	枕木	六七五〇
紅松	七五〇〇	紅松	七五〇〇
燐寸用材	一〇〇〇〇	燐寸用材	四〇〇
電柱	二〇〇〇〇	電柱	六〇〇
マグネシヤ	三三〇〇	マグネシヤ	三六一
滑石	四七〇〇	滑石	三三〇
大豆油	三三〇	大豆油	一七六
大豆粕	二八〇〇	大豆粕	四七六〇
其ノ他		其ノ他	一七八〇〇
(3) 小計		(3) 小計	九九二〇元
計		計	一三二一〇元
受取總計		受取總計	一三八四〇元

備考 石炭ニ關シテハ運賃其ノ他ノ諸掛ハ高率内ニ於テ支拂フコトトシ其ノ買價ヲ計上セリ

裏面白紙

三滿洲北支間對際收支調整ニ付スル也

昭和十六年二月一日企畫院及係應會議決定前支間對際收支調整ニ  
付スル也

備考ニ依ル細部事項ハ左記要領ニ依リ之ヲ實施スルモノトス

左記

(一) 本邦對滿北増進調整物資

本邦ヨリ滿北ニ増進セラルヘキ物資三萬〇〇〇千圓ノ品目及  
ビ金額ハ別表第一ニ依ルコト

(二) 滿洲對向物資滿北振向分

本邦ノ對滿輸出品ノ滿北へ振替ラルヘキ物資三萬〇〇〇千圓  
ノ品目及金額ハ別表第二ニ依ルコト

(別表第一)

北支向日本ヨリノ繪送輸出品内譯表

Faint table with multiple columns and rows, likely listing export items from North China to Japan. The text is illegible due to fading.

Faint table with multiple columns and rows, likely listing export items from North China to Japan. The text is illegible due to fading.

(別表第一)

北支向日本ヨリノ増産品内譯表

品名	單位	數量	單價 (天壹〇F)	價額
硫菜及泉寶	石屯	50000	90600	16500
優良種子 (種)	種	300000	3107	6314
ケナフ種子	種	300000	7476	16
砂糖 (氷砂糖 含ム)	斗	2006	10500	150
清酒	斗	1	500	500
油脂及同製品 (主トシテ蠟燭)	斗	1	100	100
石鹼	斗	1	100	100
化粧用品 (主トシテ日用品)	斗	1	100	100
除蟲菊及同製品	箱	6369	4082	260
殺蟲液	箱	75614	529	400
工業藥品 (主トシテ農業用品)	箱	1	300	300
鉛筆	一ヶ	792	13626	100
鉛	一ヶ	27726	541	130
綿織絲及綿織絲	反	1	3601	300
純ブランケット (タオル含ム)	反	222161	3601	8000
毛織物	百封反	96	52100	50
毛織物	一袋	1	673	300
絹織物	一匹	6760	14127	955
人造絹絲	百封反	13372	23433	3000

裏面白紙

品名	單位	數量	單價	價額
布帛製品	疋	1	1311	1311
帽子及帽本	打	25400		3333
木 材		1		76
木 材 (一般建築用材)		1		1300
木 製品 (家具等)		1		300
竹材及竹製品		1		300
製帽用良田		1		100
花 蓮 戶 疊 表		1		100
洋 傘	打	173	3700	6411
ブラッシュ		1		150
ランプ及同部分		1		150
玩具		1		80
椅子及同製品		1		30
書籍及雜誌		1		30
衣類及同類用品		1		1000
紙 製品		1		500
合 計				35000

備考 一、数量及單價ハ計算トス

二、砂糖ニ付テハ目下進行中ノ荷蘭印通商交渉ノ妥結ヲ俟テ實施スルモノトシ右協定ノ成立セシメテ本邦實施國難トナリタル場合ニハ更ニ協議スルモノトス

三、自製軍需品五〇萬圓並ニ砂糖等品五〇萬圓ノ供給ハ北支供給ヲ待ル如ク別途研究スルモノトス

裏面白紙

(別表第二)

北支向滿洲國ノ振替輸出品内訳表

品名	單位	數量	單價 (天津C.F.)	價額
麥酒	打	二九〇八五	一八、九一	五、五〇
石炭				四、六〇〇
化粧用品				一、〇五〇
醫藥				六三〇
絹織物	匹	一九〇四二	一四、一、二七	二、六九〇
人絹織物	千方碼	九三三二	七、五四三二	七〇三〇
布帛製品	匹	一一、四、三、四	一、三四二	一、六五〇
スフ織物				三、〇五〇
吳服類				一、五〇〇
絹手巾	打	一、四、三、九三	一、〇、四二	一、五〇〇
メリヤス製品	打	九六二七三	一、六一〇	一、三、五〇
帽子及帽体	打	六、二、五、四七	一、三、一一	八、二〇〇
身邊裝飾品				一、二七〇
可ム織製品				三、五〇〇
花菱及疊紙				一、三〇〇
ラップ及向部分品 (鐵道及礦山用、除ク)				二、三〇〇
玩具				五、五〇〇
茶具				三、三〇〇
紅茶	一〇〇封底	六、六、四、七	八、二、七、四	五、五〇〇
管帶道具 (金屬製品)				二、三、五〇
磁器				三、三、三〇
磁器				一、六、四〇
汽鐘				三、五、〇〇〇
合計				三、五、〇〇〇

備考 一、數量及單價ハ概算トス

裏面白紙

(表一) 北支間實際收支調整細部ニ關スル現地事務係當局申合

品名	昭和十六年		昭和十七年	
	額	品名	額	品名
...	...	...	...	...

三、滿洲、北支間實際收支調整細部ニ關スル現地事務係當局申合  
昭和十六年二月一日企畫院ニ於ケル「滿支間實際收支調整ニ關ス  
ル件」ノ決定ニ基キ之カ細部事項左記ノ趣申合ヲ爲ス

- 記
- (一) 輸出入雜品ニ關スル件  
滿洲及北支ノ輸出品ニ關シテハ、表第一及第二ヲ基準トシ  
テ改メテ現地ニ於テ協議ヲ爲スモノトス
  - (二) 支那東州再輸出ニ關スル件  
關東州再輸出物價ニ三〇〇千圓ニ關シテハ中央ニ於ケル貿  
易計畫ノ決定ヲ俟テ改メテ協議スルモノトス
  - (三) 輸出入價格ニ關スル件  
滿洲、北支間輸出入價格ニ關シテハ兩領ノ事情ヲ勘案シ別途  
速ニ現地ニ於テ協議スルモノトス
  - (四) 舊債償額ノ金圓資金ノ振替及昭和十六年度滿北支支拂超過額



四〇〇〇〇千圓ノ資金調達ニ關シテハ別ニ詳述スル處ニ據ル  
 (因滿洲ノ北支間道路建設ニ關シテハ別紙要領ニ基キ遠ニ詳述ス  
 ルモノトス  
 前各項ノ内現地ニ於テ協賛ヲ要スルモノニ關シテハ遠クモ二月  
 末日迄ニ兩地關係主要者會同ノ上協賛ヲ遂クルモノトス

(附表第一)

昭和十六年度建設費其他雜品内訳表

品目	單位	數量	單價	價格	備考
耐火煉瓦	千圓	四六〇〇	一〇〇〇	四六〇〇	
木材パルプ	千圓	四九〇〇	三〇〇〇	一四七〇	
塗料類	千圓	一〇〇〇		一〇〇〇	
鉋金類	千圓	八三三		八三三	
工具類	千圓	一九七		一九七	
純ベンゾール	千圓	五	三〇〇	二	
硫化塗料	千圓	七六〇	一六六七	一二六七	
曹達灰	千圓	二〇〇〇	一七〇〇	三四〇〇	
フリンシ油	千圓	五〇	一二〇〇	六〇〇〇	

品目	單位	數量	單價	價額	備考
瀧州特硬質粘土	噸	二八〇	三〇〇	一四	
鐵鋼類格落品	"	三三〇〇	一八〇	六三〇	
ナフタリン	"	一〇〇〇	三七五	三七五	
確安	"	二一〇〇	二〇〇	四二〇	
タレナソト	"	三〇〇	八五	二五	
銃鐵	"	一三〇〇	〇〇	一八〇	
漢藥	千圓	二〇〇〇	〇〇	二〇〇〇	
其他				四七二三	
小計				一七八〇〇	

(附表第二)

昭和十六年度北支對滿供給品內譯表

品名	單位	數量	單價	價額	備考
澆紙				二〇〇〇	
藥草				三〇〇〇	
其他雜品				三三〇〇	

三事業審査關係  
 本月中審査シタル事業許可左ノ如シ  
 工業關係

件名	事業目的	出願人	資本金	處置	備註又ハ理由
同業窯業工廠 開設營業ノ 件	煉瓦・瓦 耐火物、陶磁器、 石炭製造販賣	山西省陽泉新市街 九如 江原定親 王久彦	一万五千圓 認可	認可	
薬工品工場設 置ノ件	薬工品ノ製造、加 工ノ出入	天津日界泰磨街 北支業工品株式會 社 小口只雄	十万 圓 認可	認可	
右 全	右 全	天津日界壽街 新東公司 秋月伊勢松	十万 圓 認可	認可	
大造起毛廠設 置ノ件	メリヤス生地及綿 布ネル毛布等ノ加 工製造販賣	天津五門街橋大胡 同 亞細洋三	三万 圓 認可	認可	

2 鑛山關係

社名	採掘箇所	鑛産名	出願人	資本金	處	種
鑛産名更正 關スル在	河北省密雲縣 子莊 大溝内山附近 一帶地方	鑛石 鑛石	北京東四牌樓六 漆胡同 新々鑛業公司 金子取産			

タオル製造工 場設備願ノ在	タオル製造販賣	大阪市東道安土町 天野吉次	三万 圓	認可		
日本國專務式 會社砲金鑛造 工場設備願ノ在	砲金、バルブコウ ノ製造	天津日界旭街 河野洋吉	六万二千圓	認可		

2 美 / 他

申請名	事業目的	出願人	資本金	資質	備考
上辰之助申請 石原辰之助	石原辰之助	北宮司法部副府顧問 上辰之助	二万圓認可		
北房産股份有 限公司唐山支 店開設ノ旨	唐山支店開設 公家通商銀行	北房産股份有限公 司 平手勘次郎	五万圓認可		
中央市株式 會社設立ノ旨	中央市株式會 社設立	中央市株式會社 代表取締役 平手勘次郎	二万圓認可		
清酒製造販賣 株式會社設立 ノ旨	清酒製造販賣	天津河北三 泰興七五三吉	三万圓認可		

右 全	第二種自動車營業許可願ノ在	福昌公司北京支店設置願ノ在	一都商會北京支店木工部營業願ノ在
右 全	貨物運送營業	土木建築請負業 箱籠類・食器品外販賣	家具並木工類ノ製作 販賣
右 佐佐木初茂	石門市正東街十六號 前田秋生	北京東城東交民巷 大和街 市山 繁五郎	北京東安門東河沿 末次建助
四万五千圓		三十万圓	五万圓
認可	認可	認可	認可

株式會社大丸北 京支店所設置 資本金ノ額 額千圓 額千圓ノ位	一般或商品ノ取次 集金ノミ 胡向 鈴木保介	八千圓認 可 一般商品ノ取 次集金ハ認メ ズ
合資會社日本器 資材株式組 資材ノ取 更取ノ位	備蓄資材ノ製造販賣 株式會社ニ變更 天津日界橋街 佐藤類太郎	三十萬圓認 可 五十萬圓認 可
石油聯合株式會 社 天津出張所設置 額ノ位	石油類ノ輸入及運送 天津日界橋街 佐野敏郎	一萬五千圓認 可

合資會社義公 司 可變變更願ノ 位	硝子器等製造販 賣 天津日界街 柴坂千七	十萬圓認 可
六合堂吉農場 開設願ノ位	農場經營 北京内一區虎鎮胡 三田鐵造	十萬圓認 可
昌洋行北京出 張所營業種目追 加願ノ位	ゴム製品、油脂類 被器具、人力車用 品消火ポンプ外 北京内一區八面橋 川上勝造	十萬圓認 可





